

令和 8 年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会
第 1 回定例会会議録

1 開催日時 令和 8 年 8 月 1 0 日(月)午後 1 時 3 0 分から午後 1 時 5 7 分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2 階研修室

3 出席委員

稲垣 貴宣	委員長	小川 真治	副委員長
野々川嘉則	委員	赤松 修二	委員
関谷 吉彦	委員	永井 勇	委員
井戸田通敬	委員	山田 康治	委員
三島由美子	委員	松井 隆明	委員
西村多香子	委員	稲垣 淳郎	委員
伊藤 学	委員	河村 典久	委員（学識経験者）
渡邊 浩	委員	伊藤 新治	委員
秋田 伸裕	委員		

事務局

岩本 淳	事務局長	服部 和宏	業務課長
永見 昭恵	総務課長	大森 秀俊	業務課副主幹
稲垣 徹	業務課施設管理係長		

4 議題

- (1) 令和 8 年上半期ごみ溶融炉運転状況について
- (2) 令和 8 年冬季・春季気象調査について
- (3) 調整池からの排水調査について

5 会議資料

- ・ 令和 8 年上半期ごみ溶融炉運転状況【資料 1】
- ・ 気象調査（通年観測・特別観測）報告書【資料 2】
- ・ 調整池からの排水調査報告書【資料 3】

6 議事内容

岩本事務局長：本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。始めに、本日の会議資料でございますが「次第」及び「資料 1 から 3」並びに「委員名簿」を委員様の机の上に配付しておりますのでご

確認をお願いいたします。私は本年4月より当組合事務局長になりました岩本と申します。よろしくお願いいたします。なお、今年度、小牧市の人事異動により市民生活部長に異動がありました。当委員会の副委員長につきましては、「落合 健一」委員から「小川 真治」委員に交代しております。

小川副委員長：小牧市市民生活部長の「小川 真治」と申します。この度、小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会の副委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

永見総務課長：資料につきまして、訂正させていただきます。皆様にお配りしております委員名簿についてですが、小牧市の「市民生活部ごみ政策課長」のところが小牧市の組織改正に伴い、「市民生活部カーボンニュートラル推進課長」になりますので訂正させていただきます。大変失礼いたしました。

岩本事務局長：定刻となりましたので、只今から令和8年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回定例会を開会させていただきます。本日の出席委員でございますが、17名であります。環境センター管理委員会要綱第5条の規定によりまして、会議は成立いたします。それでは、次第に従いまして、委員長からごあいさつをいただきたいと思います。

稲垣委員長：あいさつ

岩本事務局長：ありがとうございました。これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長をお願いいたします。

稲垣委員長：それでは、議事に入ります。議題1「令和8年上半期ごみ溶融炉運転状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

服部業務課長：議題1、令和8年上半期のごみ溶融炉運転状況についてご説明させていただきます。資料1の1ページをご覧ください。1号炉は、1月27日から2月27日までの32日間を含み、83日間の運転を行いました。2号炉は、1月6日から3月27日までの81日間を含み、133日間の運転を行いました。1号炉・2号炉並列運転日数につきましては、合計68日間でした。続きまして、2ページの運転実績です。1月から6月までの上

半期合計にて説明いたします。搬入日数が152日、可燃ごみ量18,179.64トン、破碎残渣物が1,570.99トンで、搬入量合計19,750.63トン、大塊スラグは261.83トンでした。溶融処理量につきましては、1号炉の溶融日数83日、溶融量7,140.47トン、2号炉の溶融日数133日、溶融量12,242.09トン、合計日数216日、合計溶融量で19,382.56トンでした。また、スラグ、メタル排出量合計は1,791.60トン、ごみ汚水量合計の181.15トンについては、燃焼室へ噴霧処理を行い、ピット放水等については628.07トンです。搬入量合計を令和7年上半期と比較しますと、率で1.69%、量で340.41トンの減少でした。続きまして、3ページをお願いいたします。令和8年上半期の環境センター調査概要についてです。(1)目的、(2)測定地点、(3)測定機関と測定月、次ページの(4)測定項目につきましては、変更はありません。続きまして、5ページをお願いいたします。排ガス濃度測定結果(手分析)について、1号炉は2月と5月、2号炉は1月と2月と4月に測定を行い、測定結果につきましては表中に記載の通りで協定基準値以下の値でした。6ページに移りますが、排ガス濃度測定結果の(自動連続測定)についても、表中に記載の通りで、協定基準値以下の値でした。続きまして、7ページをお願いいたします。場内からの雨水排水測定結果については、測定日は2月25日と4月23日で、1のカドミウム及びその化合物から、1,4-ジオキサンまでの28項目において両日とも協定基準値以下の値でした。続いて、8ページをお願いいたします。騒音・振動測定結果についてです。1、騒音測定結果については、昼間の時間帯で説明させていただきます。2月9日からの24時間の測定結果は、測定地点①42dB、②45dB、③47dB、④44dB、⑤48dB、⑥47dB。4月13日からの24時間の測定結果は、測定地点①47dB、②40dB、③46dB、④42dB、⑤48dB、⑥48dB。以下、夕、夜間、朝の時間帯で測定した結果は表中に記載の通りです。測定値は、敷地境界線上での測定で、除外できない周辺騒音を含んだ値となっています。なお、4月の調査地点①については、前日までの雨の影響により、横を流れる川の音が影響し、2月と比べ高めの値となっております。次に、2、振動測定の結果は、昼間及び夜間の時間帯に測定を行い、2月9日からの測定と4月13日からの測定において、測定地点①から⑥の全て30dB未満であり、協定基準値以下の値でした。9ページは、各種測定箇所的位置図です。続きまして、10ページをお願いいたします。上段のグラフは、可燃ごみ搬入量の実績と前年同月比のグラフになります。令和8年上半期の合計が18,179.64トンで、令和7年より210.31トン、率で1.14%の減少となりました。下段のグラフは総ごみの搬入量の実績と前年同月比の

グラフです。令和 8 年上半期の合計が19,965.16トンで、令和 7 年より361.01トン、率で1.78%の減少となりました。なお、可燃ごみの中には、令和 7 年は能登半島からの災害ごみ450.99トン、令和 8 年は春日井市応援ごみ383.99トンを含んでおります。11ページからは資料となります。以上で議題 1 の報告を終わります。

稲垣委員長：事務局の説明は終わりました。これについて、質問はありませんか。

河村委員：資料 10 ページの表ですが、表中に平成 7 年、平成 8 年とありますが、これは令和 7 年、令和 8 年の間違いではないですか。

服部業務課長：令和 7 年、令和 8 年の間違いです。訂正いたします。失礼いたしました。

稲垣委員長：ほかに質問はありませんか。なければ、議題 1 については終了します。続きまして、議題 2 「令和 8 年冬季、春季気象調査について」及び議題 3 「調整池からの排水調査について」を一括議題といたします。事務局の説明をお願いします。

大森副主幹：それでは、資料 2 気象調査、通年観測報告書と特別観測報告書をご覧ください。1 ページ、第 1 章、調査概要の 1-1 目的、1-2 調査地点につきましては変更ありません。1-3 調査期間、通年冬季調査期間は令和 7 年12月 1 日から令和 8 年 2 月28日まで、通年春季調査期間は令和 8 年 3 月 1 日から令和 8 年 5 月31日まで、特別観測春季調査期間は令和 8 年 5 月20日から令和 8 年 5 月26日の 7 日間です。1-4 調査機関、1-5 調査項目及び測定方法につきましては変更ありません。2 ページは調査地点図になります。続きまして、3 ページをご覧ください。第 2 章調査結果を報告させていただきます。風向・風速通年観測調査は冬季について説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、西北西からの風14.8%、西からの風13.4%、北西からの風12.0%、環境センターが位置する北からの風の頻度は6.5%でした。平均風速は、毎秒1.8mで、最大風速は 1 月11日14時に西からの風、毎秒10.5mを観測しました。春季年間の調査結果につきましては表中に記載の通りです。続きまして、風向・風速特別観測調査について報告させていただきます。期間中の気温、湿度については、環境センター地点で平均気温21.7℃、平均

湿度は76%でした。風向・風速につきましては、野口地点で説明させていただきます。出現の多い風向と頻度では、南南東からの風11.3%、南からの風10.7%、南東からの風9.5%、東南東からの風8.9%、西南西及び西からの風8.3%でした。環境センター方向からの風の頻度は、北からの風1.8%を観測し、平均風速は毎秒1.6mで、最大風速につきましては、5月22日の15時に西からの風が毎秒4.6mを観測しました。ほか、林地点、大山地点、環境センター地点の測定結果につきましては表中に記載の通りです。続きまして、4ページをご覧ください。環境濃度、通年観測・特別観測につきましては、通年観測の野口地点で説明させていただきます。二酸化硫黄の冬季、春季、年間の最高値はともに0.002ppm、二酸化窒素の冬季、年間の最高値はともに0.017ppm、春季の最高値は0.015ppm、浮遊粒子状物質の冬季の最高値は0.030mg/m³、春季の最高値は0.032mg/m³、年間の最高値は0.075mg/m³、塩化水素の冬季、春季、年間の最高値はともに0.001ppmでした。特別観測につきましては表中に記載の通りです。5ページは、特別観測全日データ（春季）の調査地点での風向風速を表した図であり、6ページは、風向別出現頻度及び平均風速、特別観測全日データ（春季）の表になります。続きまして、資料3、調整池からの排水調査報告書をご覧ください。1ページ、第1章調査概要の1-1目的、1-2調査地点につきましては変更ありません。1-3調査日は令和8年5月25日になります。1-4調査項目及び調査方法につきましては表1-1に示す通りであります。2ページは調査地点図になります。3ページをご覧ください。第2章調査結果を報告させていただきます。水素イオン濃度はPH7.2、生物化学的酸素要求量は7.6mg/L、化学的酸素要求量は13.0mg/L、溶存酸素量は6.4mg/L、浮遊物質量は2.5mg/Lでありました。以上で、議題2、議題3についての報告を終わります。

稲垣委員長：事務局の説明は終わりました。これについて質問はありませんか。

稲垣委員長：よろしいですか。なければ、議題2及び議題3については、終了します。続きまして、「その他」について、事務局からお願いします。

岩本事務局長：私から2点お話をさせていただきます。まず1点目でございます。次期ごみ処理施設整備基本構想策定業務委託プロポーザルについてであります。当組合では、次のごみ処理施設整備の基本構想を今年度から3ヶ年かけて策定してまいります。これは小牧岩倉地区における将来

の廃棄物の処理体制のあり方を整理し、基本的な方向性、処理体制、事業方式、建設候補地について比較検討を行い、取りまとめることを目的とするものでございます。策定業務を委託するに当たり、公募型プロポーザルにより事業者選定を行います。公募型プロポーザルとは、参加を希望する会社から事業の進め方などの提案を受けて、その内容を比較評価して最も適した会社を選ぶ方法です。簡単に言いますと、値段だけではなくて、どの会社が一番良い仕事をしてくれるか、提案内容も含めて選ぶ方法でございます。この策定業務の募集を7月24日に公表しましたので、ご報告をさせていただきます。スケジュールとしましては、8月のお盆明けを事業者の参加表明受付期限とし、10月の中旬ごろに事業者を決定し、その後作業に入っております。以上、ご承知おきいただきたく報告いたします。続きまして、2点目になります。次回の管理委員会の開催についてであります。管理委員会の定例会議につきましては、管理委員会要綱により、年2回の開催となっております。今回は、来年2月上旬を予定しております。開催日時が決定次第、郵送にて皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いします。事務局からは以上であります。

稲垣委員長：ほかに何かありませんか。なければ、本日予定しておりました議事を終了します。これをもちまして、令和8年度小牧岩倉衛生組合環境センター管理委員会第1回定例会を閉会致します。本日はお疲れ様でした。